

概要

導入後の変更は 3会社毎の設定を変更する を選択してください。プログラム内訳は一緒です。

【会社マスター登録】は、新しく会社マスターを登録する業務です。

- 【会社マスター登録】
- 【会社マスター利用者登録】
- 【拠点登録】
- 【入力者登録】

こんな時に利用します

【Web 超財務システム】で新たな会社の会計データを管理する場合  
会社マスター登録、決算修正月の設定、締日の設定、  
消費税仕訳の設定、伝票番号を手動か自動かの選択[月別や年次、拠点別等々]  
プロジェクトの桁数[英数 1 桁～12 桁] 等々

この画面の次によく使う機能として

・【管理者業務】・【3 会社毎の設定を変更する】・ →すでに登録してある情報を追加修正する場合

【会社マスター登録】の新規登録と追加修正の概要は一緒なので上記ページを参考にしてください

- 【会社マスター登録】
- 【会社マスター利用者登録】
- 【拠点登録】
- 【入力者登録】
- 【参照制約定義登録】
- 【アプリケーション制約定義登録】
- 【ログインユーザーと利用者の関連付け】
- 【参照制約登録】
- 【アプリケーション制約設定】

・WEB【特殊処理】・【基本設定ユーティリティ】・【拠点別自動採番設定】

→ 伝票番号を拠点コード別に連番登録可

例) 自動連番を月別または半期か年次で以下のように設定が可能です

拠点コード 0001 本社 伝票番号 00001～01999

ログイン者 鈴木

ログイン者 高橋

ログイン者 斎藤

拠点コード 0002 大阪支店 伝票番号 02001～02999

ログイン者 田中

ログイン者 阿部

ログイン者 渡辺

会社毎に伝票番号自動採番の設定をする場合

- ・する しないの設定 … P7
- ・伝票番号の連番方法を設定 … P7
- 以下9種類から選択できます
- 全社、全社月別、全社決算期別、全社日別
- 入力者別月別、入力者別決算期別、入力者別日別
- 拠点別月別、拠点別決算期別、拠点別日別

導入後の変更は 3会社毎の設定を変更する を選択してください。プログラム内訳は一緒です。

(【会社マスター登録】)

統合版2.0/管理者コンソール Version 3.9.0.1  
(消費税平確認)

メインメニュー 【プログラムは連続処理されます】

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 超財務の名称関係を投入する</li> <li>2</li> <li>3 会社毎の設定を変更する</li> <li>4</li> <li>5 導入時、利用者追加時に行なう処理</li> <li>6 新しい会社を登録する (超財務マスター利用)</li> <li>7 <b>新しい会社を登録する</b></li> <li>8 残高・名称登録処理関係</li> <li>9</li> <li>10</li> <li>11 原本マスター登録関係</li> </ol>	<p style="color: red;">右の画面が開きます</p>	<p style="text-align: center; background-color: #e0ffe0;">プログラム内訳</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>会社マスター登録</b></li> <li>2 会社マスター利用者登録</li> <li>3 拠点登録</li> <li>4 入力者登録</li> <li>5 参照制約定義登録</li> <li>6 アプリケーション制約定義登録</li> <li>7 ログインユーザーと利用者の関連付け</li> <li>8 参照制約設定</li> <li>9 アプリケーション制約設定</li> <li>10 残高テーブル更新</li> </ol>
--	--------------------------------------	---

簡単処理説明

- ・超財務マスターを利用してWeb会社マスターの登録を行ないます。
- ・データベース上に新規会社を登録する場合には、右記のプログラムが順に実行されます。
- ・会社登録を行ないます。

【1.会社マスター登録】をダブルクリックします。

会社マスター登録

原本マスター選択

会社コード	会社名*	決算期	決算期間(自)	決算期間(至)	開始年月日*	締日*	決算修正入力方法

最高経営責任者役職名	最高経営責任者	住所
電話番号	FAX番号	E-mail
経理責任者名	業種	従業員数

枝番コード利用 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	プロジェクトコード設定	伝票番号自動採番 <input checked="" type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> する
部門コード利用 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	文字種	自動採番種類(Pro)
プロジェクト <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	0 英数	
	0 固定しない	
		12

管理A\*ポート\*

仮払消費税科目\*

仮受消費税科目\*

振替処理	部門コード	枝番コード	プロジェクトコード
	8桁をコピーする	無	無
生成処理	無	対象科目よりコピー	対象科目よりコピー
	対象科目よりコピー	相手科目よりコピー	相手科目よりコピー
	相手科目よりコピー		

登録

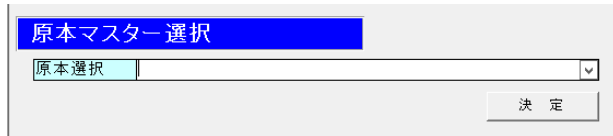
新たに会社マスターを登録する業務です。

(各項目の説明)

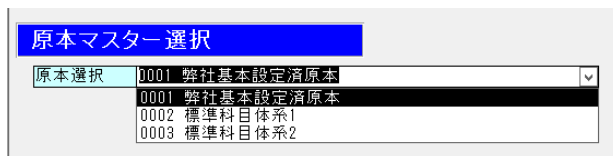
【原本マスター選択】



科目体系や消費税設定の初期値を参照する、【原本マスター】を選択します。  
この【原本マスター選択】のボタンを押すと、以下のような画面になります。



【原本選択】 リストボックスをプルダウンして、使用する原本マスターを選択します。

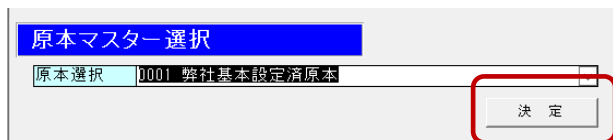


※ここで表示される原本マスターは、事前に

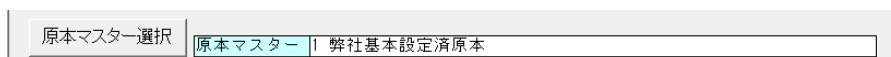
【管理者業務】 - 【原本マスター登録関係】 - 【原本名称登録処理】

で作成しておく必要があります。

初期状態の原本マスターの他、現在既に作成されている会社マスターの科目体系や消費税設定を基に原本マスターを作成することもできます。



選択した後、【決定】 ボタンを押してください。使用する原本マスターが確定します。



(会社の基本情報の設定)

会社コード	会社名*	決算期	決算期間(自)	決算期間(至)	開始年月日*	締日*	決算修正入力方法
		1					決算修正月無

【科目コード】

3桁の数値(前0)です。まだ使用されていないコードを入力してください。

【会社名】

会社の名称を入力してください。

【決算期】

データの入力を開始する、最も古い決算期の期数を入力してください。

【決算期間(自)】 【決算期間(至)】

【決算期】に指定した決算期の、決算期間の自・至の日付を入力してください。

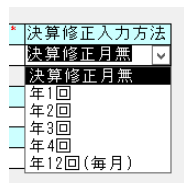
【開始年月日】

仕訳データの入力を開始する日付です。通常は、【決算期間(自)】と同じ日付を入力してください。カーソルがこの項目に初めて入った際に、【決算期間(自)】と同じ日付が自動的に設定されます。

【締日】

各月の締日を入力してください。  
 ※末締の場合は、「00」を入力してください。

【決算修正入力方法】



決算修正仕訳を使用するか、使用する場合は年何回の決算修正月を利用するかを設定します。

- 【決算修正無】 決算修正仕訳を利用しません。
- 【年1回】 期末の月のみ、決算修正仕訳を利用します。  
 この場合のみ、帳票出力時に独立した「13ヶ月目」の決算修正月として取り扱うことができます。
- 【年2回】 半年毎、年2回決算修正仕訳を利用します。
- 【年3回】 4ヶ月毎、年3回決算修正仕訳を利用します。
- 【年4回】 3ヶ月毎、年4回決算修正仕訳を利用します。
- 【年12回(毎月)】 各月に決算修正仕訳を利用します。

(会社に関する追加情報の設定)

最高経営責任者役職名	最高経営責任者	住所
電話番号	F A × 番号	E-mail
経理責任者名	業種	従業員数
	100 農林水産業／鉱業	0

【最高経営責任者役職名】

【最高経営責任者】

最高経営責任者の役職名を氏名を入力してください。

入力を省略する場合は、漢字スペース 1 文字を入力しておいてください。

【住所】

【電話番号】

【FAX 番号】

【E-mail】

会社の住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレスを入力してください。

入力を省略する場合は、スペース 1 文字を入力しておいてください。

【経理責任者名】

経理の責任者の氏名を入力してください。

入力を省略する場合は、漢字スペース 1 文字を入力しておいてください。

【業種】

最も近いものを、リストボックスから選択してください。

【従業員数】

従業員数を入力してください。

(補助コード及び伝票番号自動採番の設定)

枝番コード利用	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	プロジェクトコード設定			伝票番号自動採番	<input checked="" type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> する
部門コード利用	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	文字種	桁チェック	桁数	自動採番種類(Pro)	<input type="checkbox"/>
プロジェクト	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	0 英数	0 固定しない	12		

【枝番コード利用】

この会社マスターで、枝番を利用するかどうかを設定します。

【部門コード利用】

この会社マスターで、部門を利用するかどうかを設定します。

【プロジェクト】

この会社マスターで、プロジェクトコードを利用するかどうかを設定します。

【プロジェクトコード設定】

【文字種】

プロジェクトコード設定		
文字種	桁チェック	桁数
0 英数	0 固定しない	12
英数		
数値		

プロジェクトコードに使用する文字種を指定します。

【英数】 英数文字が利用できます。

【数値】 数字のみ利用できます。

【桁チェック】

プロジェクトコード設定		
文字種	桁チェック	桁数
0 英数	0 固定しない	12
	固定しない	
	固定する	

プロジェクトコードの桁の扱いについての設定です。

【固定しない】 入力した桁数そのままをプロジェクトコードとして取り扱います。  
長さの異なるプロジェクトコードを混在して利用できます。

【固定する】 プロジェクトコードは、次の【桁数】で指定した長さのもののみ  
利用可能です。

【文字種】が【英数】の場合

【桁数】の長さ分のプロジェクトコードのみ入力できます。

【文字種】が【数値】の場合

【桁数】に満たない入力の場合、前0が補われ【桁数】の長さの  
プロジェクトコードが入力したものとして取り扱われます。

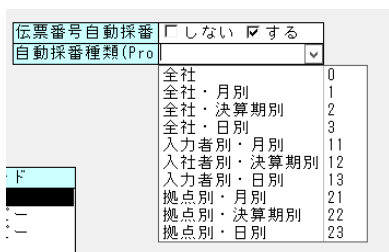
【桁数】

プロジェクトコードの最大桁数を指定します。上限は「12」です。

【伝票番号自動採番】

【簡易入力 IIPro】及び【簡易入力 II】（【外部データ受入】を除く）での仕訳入力時、伝票番号を自動的に付番するかどうかの設定です。

【自動採番種類(Pro)】



【簡易入力 IIPro】での、伝票発行自動採番の方法を設定します。

- 【全社】 会社マスター全体で、入力順に自動採番します。  
※決算期をまたいで判定します。
- 【全社・月別】 会社マスターの処理月内で、入力順に自動採番します。  
月の異なる同一の伝票番号が存在しえます。
- 【全社・決算期別】 会社マスターの同一決算期内で、入力順に自動採番します。
- 【全社・日別】 会社マスターの同一仕訳日付内で、入力順に自動採番します。
- 【入力者別・月別】 入力者毎・処理月毎に、入力順に自動採番します。
- 【入力者別・決算期別】 入力者毎・決算期毎に、入力順に自動採番します。
- 【入力者別・日別】 入力者毎・同一仕訳日付毎に、入力順に自動採番します。
- 【拠点別・月別】 入力者の拠点毎・処理月毎に、入力順に自動採番します。  
採番時に使用する伝票番号の範囲指定が可能です。
- 【拠点別・決算期別】 入力者の拠点毎・決算期毎に、入力順に自動採番します。  
採番時に使用する伝票番号の範囲指定が可能です。
- 【拠点別・日別】 入力者の拠点毎・同一仕訳日付毎に、入力順に自動採番します。  
採番時に使用する伝票番号の範囲指定が可能です。

(管理者パスワード)

管理パスワード*	
----------	--

【Web 超財務システム】の【翌期更新処理】や【特殊処理】などで使用するパスワードを指定します。

※以後、他の画面ではパスワードを確認することができません。

絶対にこのパスワードを忘れることのないようにお願いいたします。

(消費税科目の設定)

仮払消費税科目*					▼
仮受消費税科目*					▼

【仮払消費税科目】【仮受消費税科目】を設定します。

左からそれぞれ、

- コード入力
- カナ呼び出し  
(カナ1文字を入力して **Enter** キーを押すと、科目リストボックス内が絞り込まれます)
- 科目リストボックスからプルダウンして科目の選択

での選択が可能です。



(消費税都度振替処理の際に自動生成される仕訳の補助コードの設定)

振替処理	部門コード	枝番コード	プロジェクトコード
	8桁をコピーする	無	無
	無	対象科目よりコピー	対象科目よりコピー
	対象科目よりコピー	相手科目よりコピー	相手科目よりコピー
	相手科目よりコピー		

消費税都度振替処理の際、対象仕訳 1 仕訳ごとに消費税振替仕訳が自動生成されます。

その消費税振替仕訳の消費税科目(仮受消費税・仮払消費税)側の補助コードをどうつけるか設定します。

【部門コード】

振替仕訳の消費税科目側の部門コードの付与方法を設定します。

【8桁をコピーする】設定の場合を除き、振替仕訳の消費税対象科目側の部門には、振替元の消費税対象科目の部門がコピーされます。

【8桁をコピーする】

**【例外的な付与方法】** 振替元の借方部門・貸方部門を、そのまま振替仕訳の借方部門・貸方部門にコピーします。

【なし】

振替仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側には、部門を付与しません。  
(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側の部門をコピーします。)

【対象科目からコピー】

振替仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、振替元の消費税対象科目側の部門をコピーします。

(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側の部門をコピーします。  
結果として、振替仕訳には貸借とも同一の部門が付与されます。)

【相手科目からコピー】

振替仕訳の消費税対象科目側に、振替元の消費税対象科目とは反対側の部門をコピーします。

(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側の部門をコピーします。  
結果として、振替仕訳には振替元とは貸借が逆になる形で部門コードが付与されます。)

【枝番コード】

振替仕訳の消費税科目側の枝番コードの付与方法を設定します。

振替仕訳の消費税対象科目側の枝番には、振替元の消費税対象科目の枝番がコピーされます。

枝番は、科目単位での登録が必要です。

「対象科目からコピー」「相手科目からコピー」を設定した場合、消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)に該当の枝番が未登録の場合、以後の処理で問題を生じる可能性があります。設定される場合は十分にご注意下さい。

【無】

振替仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側には、枝番を付与しません。  
(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側の枝番をコピーします。)

【対象科目からコピー】

振替仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、振替元の消費税対象科目側の枝番をコピーします。  
(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側の枝番をコピーします。  
結果として、振替仕訳には貸借とも同一の枝番が付与されます。)

【相手科目からコピー】

振替仕訳の消費税対象科目側に、振替元の消費税対象科目とは反対側の枝番をコピーします。  
(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側の枝番をコピーします。  
結果として、振替仕訳には振替元とは貸借が逆になる形で枝番コードが付与されます。)

【プロジェクトコード】

都度振替処理の際、振替仕訳の消費税科目側のプロジェクトコードの付与方法を設定します。  
振替仕訳の消費税対象科目側の枝番には、振替元の消費税対象科目のプロジェクトがコピーされます。

【無】

振替仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側には、プロジェクトを付与しません。  
(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側のプロジェクトをコピーします。)

【対象科目からコピー】

振替仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、振替元の消費税対象科目側のプロジェクトをコピーします。  
(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側のプロジェクトをコピーします。結果として、振替仕訳には貸借とも同一のプロジェクトが付与されます。)

【相手科目からコピー】

振替仕訳の消費税対象科目側に、振替元の消費税対象科目とは反対側のプロジェクトをコピーします。  
(振替仕訳の消費税対象科目側には、振替元の消費税対象科目側のプロジェクトをコピーします。結果として、振替仕訳には振替元とは貸借が逆になる形でプロジェクトコードが付与されます。)

(消費税都度分離処理の際に自動生成される仕訳の補助コードの設定)

生成処理	部門コード	枝番コード	プロジェクトコード
	8桁をコピーする	無	無
	無	対象科目よりコピー	対象科目よりコピー
	対象科目よりコピー	相手科目よりコピー	相手科目よりコピー
	相手科目よりコピー		

消費税都度分離処理の際、対象仕訳 1 仕訳ごとに消費税分離仕訳が自動生成されます。

その消費税振替仕訳の消費税科目(仮受消費税・仮払消費税)側の補助コードをどうつけるか設定します。

【部門コード】

分離した消費税仕訳の消費税科目側の部門コードの付与方法を設定します。

分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対側の位置の部門には、元の仕訳の同じ側の部門がそのままコピーされます。

【8桁をコピーする】

分離元の借方部門・貸方部門を、そのまま分離した消費税仕訳の借方部門・貸方部門にもコピーします。結果として、「対象科目からコピー」した場合と同じ部門付与の結果になります。

【無】

分離した消費税仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側には、部門を付与しません。

(反対側の部門には、分離元の同じ側の部門をコピーします。)

【対象科目からコピー】

分離した消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、分離元の消費税対象科目側の部門をコピーします。

(分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対の位置の部門には、元の仕訳の同じ側の部門がコピーされます。結果として、【8桁をコピーする】設定の場合と同じ部門付与の結果になります。)

【相手科目からコピー】

分離した消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、分離元の消費税対象科目とは反対側の部門をコピーします。

(分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対の位置の部門には、元の仕訳の同じ側の部門がコピーされます。結果として、分離した消費税仕訳には、貸借とも同一の部門が付与されます。)

### 【枝番コード】

都度分離処理の際、分離した消費税仕訳の消費税科目側の枝番コードの付与方法を設定します。分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対側の位置の枝番には、元の仕訳の同じ側の枝番がそのままコピーされます。

枝番は、科目単位での登録が必要です。

「対象科目からコピー」「相手科目からコピー」を設定した場合、消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)に該当の枝番が未登録の場合、以後の処理で問題を生じる可能性があります。設定される場合は十分にご注意下さい。

#### 【無】

分離した消費税仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側には、枝番を付与しません。

(反対側の枝番には、分離元の同じ側の枝番をコピーします。)

#### 【対象科目からコピー】

分離した消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、分離元の消費税対象科目側の枝番をコピーします。

(分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対の位置の枝番には、元の仕訳の同じ側の枝番がコピーされます。)

#### 【相手科目からコピー】

分離した消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、分離元の消費税対象科目とは反対側の枝番をコピーします。

(分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対の位置の枝番には、元の仕訳の同じ側の枝番がコピーされます。結果として、分離した消費税仕訳には、貸借とも同一の枝番が付与されます。)

### 【プロジェクトコード】

都度分離処理の際、分離した消費税仕訳の消費税科目側のプロジェクトコードの付与方法を設定します。

分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対側の位置のプロジェクトには、元の仕訳の同じ側のプロジェクトがそのままコピーされます。

#### 【無】

分離した消費税仕訳の消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側には、プロジェクトを付与しません。

(反対側のプロジェクトには、分離元の同じ側のプロジェクトをコピーします。)

#### 【対象科目からコピー】

分離した消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、分離元の消費税対象科目側のプロジェクトをコピーします。

(分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対の位置のプロジェクトには、元の仕訳の同じ側のプロジェクトがコピーされます。)

【相手科目からコピー】

分離した消費税科目(仮受消費税あるいは仮払消費税)側に、分離元の消費税対象科目とは反対側のプロジェクトをコピーします。

(分離した消費税仕訳の消費税対象科目とは反対の位置のプロジェクトには、元の仕訳の同じ側のプロジェクトがコピーされます。結果として、分離した消費税仕訳には、貸借とも同一のプロジェクトが付与されます。)

(設定の確定)

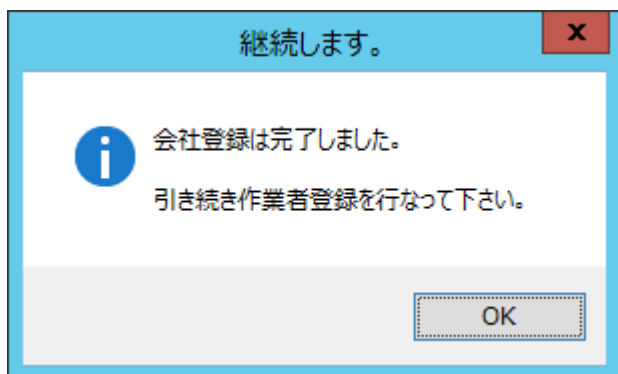
会社マスター登録

原本マスター選択 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">原本マスター   弊社基本設定済原本</span>							
会社コード	会社名*	決算期	決算期間(自)	決算期間(至)	開始年月日*	締日*	決算修正入力方法
400	ICS興産株式会社	1	2017/04/01	2018/03/31	2017/04/01	00	年1回
最高経営責任者役職名	最高経営責任者	住所					
代表取締役社長	中山 博之	東京都中央区日本橋小伝馬町1-1					
電話番号	FAX番号	E-mail					
03-3669-8271	050-3156-7156	info@icst.co.jp					
経理責任者名	業種	従業員数					
	2600 システム・ソフト開発/他情	999					
枝番コード利用 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 部門コード利用 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 プロジェクト <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	プロジェクトコード設定 文字種 <input type="checkbox"/> 桁チェック <input type="checkbox"/> 桁数 0 英数 <input checked="" type="checkbox"/> 1 固定する <input type="checkbox"/> 12			伝票番号自動採番 <input type="checkbox"/> しない <input checked="" type="checkbox"/> する 自動採番種類(Pro) <input type="checkbox"/> 拠点別・月別 <input type="checkbox"/>			
管理A*ソフト* <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">icst</span>							
仮払消費税科目*	0910 仮 払 消費税						
仮受消費税科目*	0911 仮 受 消費税						
振替処理	部門コード <input type="checkbox"/> 8桁をコピーする <input type="checkbox"/> 無 対象科目よりコピー <input type="checkbox"/> 相手科目よりコピー	枝番コード <input type="checkbox"/> 無 対象科目よりコピー <input type="checkbox"/> 相手科目よりコピー	プロジェクトコード <input type="checkbox"/> 無 対象科目よりコピー <input type="checkbox"/> 相手科目よりコピー				
生成処理	部門コード <input type="checkbox"/> 8桁をコピーする <input type="checkbox"/> 無 対象科目よりコピー <input type="checkbox"/> 相手科目よりコピー	枝番コード <input type="checkbox"/> 無 対象科目よりコピー <input type="checkbox"/> 相手科目よりコピー	プロジェクトコード <input type="checkbox"/> 無 対象科目よりコピー <input type="checkbox"/> 相手科目よりコピー				

登録

左下の【登録】ボタンを押すと、ここまでの設定内容で会社マスターが作成されます。

※会社マスターの作成には、しばらく時間がかかります。



会社マスター作成が完了すると、上記のようなダイアログが表示されます。

【OK】を押すと、引き続き【利用者登録】画面に遷移します。